

投稿規定

本誌は他誌に発表されていない原稿のみを掲載します。投稿者(筆頭著者)は本学会員に限ります(共著者はこの限りではありません)。他誌に投稿中、印刷中または掲載済みの論文と主要部分が重複した論文は受け付けません。この点に触れる恐れのある場合は、重複すると思われる論文のコピー1部を投稿論文とともにお送り下さい。

I 投稿論文・原稿の種類

	①原著	②資料	③症例報告	④短報	⑤実践報告
字数	8,000～12,000		8,000以内	2,400～5,600	8,000以内
邦文抄録・キーワード	400字以内・5個以内		200字以内・5個以内		
英文抄録・キーワード	250字以内・5個以内				
倫理的配慮の記載	要				

II 提出に関する規定

1. ワードプロセッサ使用の場合、1頁を文字数1,200(横40×縦30で印字されたA4サイズ用の紙)にして下さい。
2. 原稿には表題、氏名、所属とその住所を記載して下さい。I①②④には、英文で表題、氏名、所属とその住所も記載して下さい。これらに加え、抄録、倫理的配慮は規定枚数に含みません。
3. 図・表・写真は各々につき400字として規定枚数に含みます。写真はカラーではなく白黒にし、鮮明なネガまたは鮮明にプリントアウトされたものをお送り下さい。または電子ファイルにて添付して下さい。なお、原稿、写真、ネガについては返却しませんのでご了承下さい。
4. 投稿の際は、学会ホームページ(本規定末尾参照)より「投稿者カード」をダウンロードし、ご記入の上、同封ください。
5. 「症例報告」は投稿者が希望する場合には当該の症例についての対談に参加することができます。その場合、投稿者は希望する討論者を本学会の理事から複数指名することができ、それに基づいて編集委員が2～3名の討論者を指定します。投稿者は対談に参加し、その記録を8,000字程度で報告していただきます。ただし、投稿者が対談に参加するための交通費は支給しません。
6. 「実践報告」は、トラウマに関わる実践について報告して下さい。

III 倫理

研究論文については、方法論の中に「倫理的手続き」という項目を設けて下さい。その項目の中に著者所属機関の倫理委員会の承認の有無、対象者の同意を得た方法などを明記して下さい。資料の二次的使用については著作権者の許諾、その他必要と思われる事項を記載して下さい。助成・寄付を受けての研究等については、その旨を記載して下さい。また症例記述については匿名性について最大限にご配慮下さい。症例報告については、対象者の同意書コピーの提出を求めることがあります。疫学研究、医学的臨床研究、ゲノム研究については、該当する倫理指針を参照して下さい。投稿内容と関係すると思われる会社、組織などとの利害関係(conflict of interest)が存在する場合は、それらを記載して下さい。(例：製薬会社、保険会社などからの過去・現在の助成金や役職の一覧)

IV 共著者

共著者の投稿同意については、学会ホームページより「共著者承諾書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、共著者の自筆署名を付けて下さい。

V 用語

外国の人名・地名は原語表記とし、薬品・試薬名は一般名の英語表記を用いて下さい。その他の学術用語、専門用語は、日本語表記を用い、必要な場合は初出箇所に原語及び略語を（ ）で付記して下さい。再出箇所では略語表記も可能です。

VI 文献

1. 文献引用は必要最小限のもののみをあげて下さい。なお、文献引用欄は規定枚数に含みます。
2. 各文献は著者名のアルファベット順に番号を付し（同一著者の場合は、発表順）、本文中にその番号で引用し、本文中の引用は番号を上付きにして下さい。例) 小西³⁾によると
3. 欧文雑誌名の略称は Index Medicus に従い、(Am. J. Psychiatry のように省略のピリオドをつける)、邦文雑誌は公式の略称を用いて下さい。
4. 著者氏名は3名以下の場合全員、4名以上の場合3人目まで書き、後は et al. (または、ほか)として下さい。
5. 文献の書き方は、以下を参照して下さい。

	書式	記載例
雑誌	著者氏名：論文題名、雑誌名、巻：起頁-終頁、西暦年号。	小西聖子：トラウマのケア-治療者、支援者の二次的外傷性ストレスの視点から-。トラウマティック・ストレス、1；7-12, 2003. Shalev, A. Y., Peri, T., Canetti, L., et al.: Predictors of PTSD in injured trauma survivors; a prospective study. Am. J. Psychiatry, 153; 219-225, 1996.
	単行本 著者（编者、監修者）名：書名、発行所名、発行地、起頁-終頁、西暦年号。（翻訳も同じ書式）	外傷ストレス関連障害に関する研究会（金吉晴編）：心的トラウマの理解とケア 第2版。じほう、東京、2006。 American Psychiatric Association: Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders DSM-IV-TR (Text Revision). American Psychiatric Association, Washington, D.C., 2000. (高橋三郎、大野裕、染矢俊幸訳：DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル。医学書院、東京、2002.)
書籍	単行本の中の論文 著者氏名：論文題名、著者（编者、監修者）名：書名、発行所名、発行地、起頁-終頁、西暦年号。	飛鳥井望：biopsychosocial モデルとしての PTSD。松下正明総編：臨床精神医学講座 S6 外傷後ストレス障害 (PTSD)。中山書店、東京、19-40, 2000。 van der Kolk, B. A., & McFarlene, A. C.: The black hole of trauma. (ed.), van der Kolk, B. A., MacFarlene, A. C., & Weisaeth, L.: Traumatic stress. Guilford Press, New York, 3-23, 1996.

VII その他

1. 原稿の採否は編集委員会で査読の上決定します。査読は投稿者の氏名および所属を伏せて行います。また、編集方針により加筆削除等を依頼することがあります。
2. 著者校正は原則として一度のみ行います。別刷は30部までは無料、それ以上は実費を頂きます。著者校正時に希望部数をお申し込み下さい。
3. 原稿3部（2部はコピー）ならびに MS-Word・Excel, 互換ファイルによる原稿を保存した CD ディスクを「日本トラウマティック・ストレス学会編集部」宛に書留でお送り下さい。なお必ずお手元にコピーを保存して下さい。事務局住所は学会ホームページをご参照下さい。
4. 投稿規定は改訂されることがあります。最新の投稿規定もしくは改訂の情報の有無を、必ず学会ホームページでご確認下さい。
5. 本雑誌に投稿された原稿の著作権は学会に属します。また掲載原稿は、電子媒体としてメディカルオンラインを通じて公開します。